

2024年・春

竹久夢二美術館 企画展プレスリリース

夢二がえがく

# 動物ワンダーランド

大正ロマンのイラスト&デザインを中心に



2024年4月6日(土) >>>

6月30日(日)



竹久夢二美術館

動物は、生活の上で人間と様々な関わりを持ちながら、美術の分野においても数多く題材となり、幅広い表現が展開されています。

大正ロマンの画家・竹久夢二（1884-1934）は小動物を飼育し、また動物園にも足を運んで、動物に関心を寄せていました。夢二が描く女性絵や童画は、犬・猫をはじめとする動物が人に寄り添い、さらに書籍装幀やすごろくでは、遊び心を加えて動物の姿を図案化しました。

本展では、夢二が描き表した鳥・虫・魚類を含む生き物に着目し、ユニークで個性的な動物表現を紹介します。

## 竹久夢二 プロフィール

本名・茂次郎(もじろう) 1884-1934(明治17年-昭和9年)  
岡山県生まれ 画家・詩人 **【2024年は生誕140年】**



センチメンタルな画風の（夢二式美人画）作品をはじめ、恋多く、旅も重ねて大正ロマンを象徴する存在として広く知られる。明治・大正期の雑誌に発表した数々のイラストレーションをはじめ、日本画・水彩画・油彩画・木版画、さらにデザイン分野の作品を手掛け、さらに詩、童謡の創作にも才能を発揮し、詩画を融合させた芸術を開花させた。

## 展示の見どころ

- ✓ 夢二が描いた約**100種類**の動物を紹介！独自の観察眼より描写された、個性的な動物表現に注目します。
- ✓ 動物に関連して、夢二が描いた**動物園**及び**玩具の動物**、特に**ティディベア**を取り上げます。
- ✓ 美人画のイメージが強い画家・夢二の**知られざる一面**と多彩な表現を、動物画を通じて紹介します。



## 出展作品(広報用画像)の紹介 ※余白のカット含む、図版はすべて竹久夢二・画

出品点数 約 **200** 点

**ネコ** ①晩春 1926年

雑誌『グラフィック』の口絵ページに掲載。部屋でくつろぐ女性とネコが微笑ましい。

**クロネコ** ②夢二画集 都会の巻 1911年  
夢二著書のカバーに描かれた、ミステリアスなクロネコ。

**ウサギ** ③『淑女画報』 新年特別号「白兔」 1915年

白ウサギと小鳥が、草花とあわせてオールヌーヴオー調にデザインされた、雑誌『淑女画報』表紙絵。

**ネズミ** ④鼠の探検 1911年  
与謝野晶子・作の童話に、夢二が挿絵をつけている。雑誌『小学少女』に掲載。

**ゾウ** ⑤青い海越えはるばると 1914年頃

夢二によるゾウを思ふ詩が書かれている。  
青い海越えはるばると  
日本の島へきた象は、  
何が悲しくて泣きやぞ  
かなしいのではないけれど  
生れ故郷が なつかしい。

**コウモリ** ⑥夢香洲夏夕幻影 1914年  
日本画に描かれた女性が装う着物は、コウモリの柄である。

**すごろく** ⑦少女と動物双六 1925年  
17種類の動物がカラフルに描かれたすごろく。  
大正時代のお正月遊びは、すごろくが定番だった。

**キツネ** ⑧狐の約束 1925年

童話集の表紙絵を飾るのは、擬人化したキツネとアヒルで、洋服もおしゃれ。

**ブンチョウ** ⑨日本少年 絵ハガキ 1910年代

雑誌『日本少年』の読者プレゼント用絵葉書。仲睦まじいブンチョウが描かれている。

**動物園** ⑩ゑとぎ 動物園 1911年

夢二が雑誌『少女の友』に寄稿した、動物園のお話と挿絵。

**玩具** ⑪サンタクロース 1915年

サンタクロースが玩具や木馬をプレゼント。ぬいぐるみのクマはティディベア。  
★夢二は日本で、いち早くティディベアを描きました★



## 展示コーナー紹介

- ✿ 小さい動物 (イヌ・ネコ/クロネコ・ウサギ・ネズミ 他)
- ✿ 大きい動物 (ゾウ・ラクダ・ウマ・クマ 他)
- ✿ 虫&クモ&カタツムリ (チョウ・トンボ 他)
- ✿ 鳥 (小鳥…ブンチョウ/スズメ他・ツバメ・ツル・ハクチョウ 他)
- ✿ 魚&カニ
- ✿ 日本画に描かれた動物
- ✿ すごろくに描かれた動物
- ✿ たのしい動物園
- ✿ 玩具と動物
- ✿ 動物を描いてみよう!



# 展覧会概要

## 展覧会名称

夢二がえがく動物ワンダーランド  
 ～大正ロマンのイラスト&デザインを中心に～  
 【同時開催】夢二の春・華宵の春

主催及び会場 竹久夢二美術館

住所 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2

Tel 03-5689-0462

会期 2024年4月6日(土)～6月30日(日)

休館日 月曜日・5/7(火)  
 ※4/29(月・祝)、5/6(月)開館

開館時間 午前10時～午後5時  
 (入館は4時30分まで)

交通 東京メトロ千代田線〈根津駅〉及び  
 南北線〈東大前駅〉よりいずれも徒歩7分  
 JR上野駅 公園口より徒歩20分



入館料 一般 1000円 大・高生 900円  
 中・小生 500円  
 ※弥生美術館と二館併せてご覧頂けます。

ギャラリートーク  
 4/13(土)・5/12(日)・6/8(土)  
 いずれも午後2時より、担当学芸員が  
 展示解説を行います。(所要時間約45分)

ホームページ  
<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>



12 展覧会チラシ

## 竹久夢二美術館

1990年11月3日開館。創設者・鹿野琢見(1919-2009)の夢二コレクションを公開しています。

館が建つ東京・本郷は、夢二が滞在した(菊富士ホテル)がかつてあり、最愛の女性・笠井彦乃と逢瀬を重ねた場所。今なお昔の風情を留めて静けさと木々の緑に包まれています。都内で夢二作品を鑑賞できる唯一の当館では、年4回3カ月ごとに企画展を行い、夢二の生涯や芸術より様々なテーマを採り上げ、常時約200～250点の夢二作品を展示しています。



## 夢二カフェ 港や

美術館に併設

店名の「港や」は、竹久夢二が大正3年に東京・日本橋に開店した小間物店「港屋絵草紙店」から名づけました。

大きな窓がある2階席からは、緑豊かな美術館中庭が眺められ、静かでお過ごし頂けます。お手頃価格で、コーヒーやケーキ、カレーをお楽しみください。



## 展覧会についてのお問い合わせは

竹久夢二美術館 学芸員 石川桂子 までお願いいたします。

Tel 03-5689-0462 fax 03-3812-0699



FAX 03-3812-0699

竹久夢二美術館 石川 行

夢二がえがく  
**動物ワンダーランド**  
大正ロマンのイラスト&デザインを中心に

画像使用申込書



画像送付日 月 日 必着

掲載紙（誌）／番組名	
発売／放送予定日	
所属・ご担当者名	
ご住所 〒	
TEL	FAX
メールアドレス	

ご希望の図版番号に○をしてください。

図版番号（プレスリリースをご参照ください）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

読者プレゼント招待券（5組10名）	希望する	希望しない
-------------------	------	-------

通信欄

画像データの提供について

同封のプレスリリースに掲載の図版について、メールで画像データをお送りいたします。  
ご希望の場合は、この申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699までお送りください。  
また美術館写真（外観／展示室）等を必要とされる場合はご一報ください。

読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券（5組10名様分）をご用意いたします。この用紙にてお申し込みください。

掲載紙（誌）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが掲載誌（紙）をお送りくださいますようお願い申し上げます。 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2 竹久夢二美術館 担当 石川宛